

第1章 計画策定の趣旨

本市では、2006(平成18)年に、本市を取り巻くグローバル化^{*}の環境変化を踏まえ「国際化・大交流時代の活力ある都市をめざして～大分市国際化推進計画～(2006(平成18)年度～2010(平成22)年度)」を策定しました。

2011(平成23)年には、「第2次大分市国際化推進計画(2011(平成23)年度～2015(平成27)年度)」を策定し、「めざせ!東九州の国際都市“OITA”」を掲げ、国際化を推進するための人づくりやまちづくりを進めてきました。

また、2016(平成28)年には「第3次大分市国際化推進計画(2016(平成28)年度～2020(令和2)年度)」を策定し、「めざそう!東九州の国際都市“OITA”～ひろげよう!国際交流 つなげよう!世界と～」のスローガンのもと、「国際交流・国際協力」「多文化共生^{*}」を2つの推進テーマとして、国際化の進展を活かした地域の活力の維持・向上や市民の豊かさの向上につなげていくとともに、国際化の進展に伴い生じる課題に市民とともに取り組んできました。

この間、わが国においては、超高齢社会、人口減少社会の到来による生産年齢人口の減少や、グローバル化の進展による地球規模での交流の活発化により、世界とのつながりを見出そうとする動きがさらに強まってきています。

このような中、本市が今後も持続的に発展していくためには、多彩な国際交流、国際協力、経済交流による活力の創出や、すべての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりへ向けた取組が必要とされています。また、都市間連携などにより、本市が国際社会の一員としての役割を果たすことも求められており、広範な分野で体系的な国際施策を戦略的に推進していく必要があります。

新しい計画では、「世界にチャレンジし続ける グローバル都市“OITA”」を掲げ、時代に則した先見性のあるビジョンを描きながら、広範な分野で体系的・戦略的に国際化を進めることにより、これまで以上に本市の特徴や個性を生かした、地域の発展や課題の解消につながる計画となるよう策定いたしました。

本計画に定めた方針に基づき、市民と行政がそれぞれの役割に応じた連携を図るなかで、本市の国際化を進めてまいります。

※グローバル化

人の往来、貿易、金融、サービスが地球規模に広がり、個人、企業、団体などさまざまな主体が海外に広く合理的な選択を求めて行動しようとすることから、地理的に広範な市場やネットワークが進展すること。また、個々の立場がその動きに影響を受けること。

※多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。